

2026年7月10日
株式会社東武ストア

スーパーマーケットから“縁起物”をお届け！ 今季初の北海道産「新物生さんま」 7月10日(金)、17店舗にて数量限定で販売

株式会社東武ストア(本社:東京都板橋区、代表取締役社長:木村 吉延)は、7月9日(木)に北海道・釧路港で水揚げされた、今季初の「新物生さんま」を7月10日(金)17店舗にて数量限定販売いたします。

今季のさんま漁の幕開けとなる初競りでは、最高値が1キロ44万円と記録的なご祝儀価格となりました。古くから日本には、季節の最初に収穫された「初物」を食べると「寿命が75日延びる(初物七十五日)」という、健康や長寿を願うおめでたい伝統文化があります。この時期店頭に並ぶことは稀な「新物生さんま」ですが、北海道釧路漁港の富樫水産と当社水産バイヤーの確かな信頼関係、ならびに豊洲市場の老舗仲卸の協力により、今回の販売が実現いたしました。

普段からご利用いただいているお客様に、お買い物を通じて季節のワクワク感を体験していただきたい。そんな想いとともに、一足早い季節の味と福を食卓へお届けします。

■販売概要

販売日:2026年7月10日(金)開店時より(数量限定)

販売商品:北海道釧路沖産 新物生さんま(1尾約125g/時価)

販売店舗:計17店舗

- ・東京都:高島平店、王子店、西国分寺店、前野町店、竹ノ塚店、勝どき店、北千住店
- ・埼玉県:松原店、西川口店、みずほ台店、鶴瀬駅ビル店、朝霞店、東武動物公園駅前店
- ・千葉県:新柏店、馬橋店、船橋法典店、津田沼店

■2026年 北海道産「新物生さんま」について

● 初競りで1キロ44万円! 釧路史上最高値を記録:

7月9日、北海道・釧路港にて今季のさんま漁が幕を開けました。その初競りでは、過去最高値となる高値を記録。まさに今しか出会えないプレミアムな話題の初物をお届けします。

● この時期だけの上品で爽やかな味わい:

秋の深まりとともに脂が乗るさんまとは異なり、初物ならではの上品でさっぱりとした身肉の味わいが特長です。一足早い季節の訪れを、塩焼きや蒲焼き、フライでぜひお楽しみください。



以上

【お問い合わせ先】

株式会社東武ストア 総務部 広報担当:梅沢・三瓶
TEL 03-5922-5111(代表)